

論文概略

論文タイトル	Assistive technology to improve interaction for people with intention tremor
掲載誌名	Journal of Rehabilitation Research and Development
巻号項	Volume 38 Number 2 Page 235 - 243
出版年	2001 年
支援機器	The tremor control system
分類(ISO9999)	記載なし
試験相	第2 相試験
研究仮説 (目的) の概要	The tremor control system は、PC 操作中のマウス走行の機能を向上させるとともに、企図振戦を有する患者の ADL (activities of daily living) 向上にも繋がる
研究デザイン	群間比較 (同時対象)
障害・疾患	神経難病
対象者・数	健常者 16 人 障害者 36 人
主要アウトカム	動作遂行にかかった時間
副次アウトカム 1	トライした回数
副次アウトカム 2	
副次アウトカム 3	
副次アウトカム 4	
副次アウトカム 5	
統計学的検定	有
結果の概要	健常者に比べてどの項目も時間がかかるが、Tremor control system を利用すると、ダブルクリックの時間は大幅に改善
論文整理番号	91

※正確な情報が必要な場合には、元の論文を確認してください。

「支援機器の臨床評価および利用効果データベース」
支援機器イノベーション創出のための情報基盤構築に関する研究
(H26～28 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 障害者対策総合研究開発事業)

国立障害者リハビリテーションセンター